

337-9

24485

女子
音樂教科書
教師用
卷之一

永井幸次
田中銀之助
共編

開成館藏版
大阪

44. 1. 28

花 賣 女

♩ = 132.

花
賣
女

サ コ キ シ エ ハ ク ラ ダ ガ カ キ モ ン ラ タ ハ ヤ キ シ ナ サ キ シ カ シ ク ニ コ キ ナ サ シ コ シ カ シ ア チ ル チ に て

ヤ チ マ タ チ コ チ ハ ナ ヤ ヤ チ マ タ チ コ チ ハ ナ ヤ

ハ ナ ヨ ト ロ ゼ カ ル チ ト メ ゴ アー ハー レ
は な よ と ろ ぜ か る ち と め ゴ あー はー れ

八八(生徒用四六)

花 賣 女

一 基本教練

1. 聲音練習母音

コノ各音ニテオ列(オ、コ、ソ、ト、ノ、ホ、モ、ヨ、ロ、ラー)ヲ練習ス。

Sol.....Do

[注 意] 六小節ノ終リノ SolヲDo ト歌ヒ變ヘ次小節ノト調ノ音階ヲ歌ハシムベシ。

二 教授摘要

1. 「さける」ノ詞ヲ附シタル十六分音符ハ恰モスタツカッタ(圓點)ノ心持ナニ輕ク歌ハシムルヲ可トス。
2. 「をちこち」ノ「を」ノ字ヲ嵌メタル音符ハ弱聲部ナレバ弱ク發聲セシメ、「ち」ノ字ヲ嵌メタル音符ハ強聲部ノトコロナレバ、充分ニアクセントヲ附セシムルヲ要ス。
3. 最終ノ「おはれ」ハスラーヲ附シタル如ク圓滑ニ歌ヒ如何ニモ「おはれ」ナル感情ヲ發現セシムルコト肝要ナリトス。
4. 其他十六分音符ノ連續ハ皆生徒ノ口形即チ下唇ノ開閉ヲ敏活ニ運動セシムルコトニ注意シ、強聲部、中強部ニハ皆アクセントヲ附シ他ハ輕ク且ツ鮮明ニ恰モ玉ノ轉々トシテ轉ブガ如ク歌ハシメ、圓ク平クキ聲ニナラザル様特ニ注意スルコトヲ要ス。

花
賣
女

八九(生徒用四六)

谷間の流

山口 重樹

一、しぐれを誘へる 山あらしに

もみぢ葉ちりこむ 谷間のながれ

岩かむ水の音 さやかにきこゆ

二、みよみよ谷間を ながるゝ水を

野を過ぎ里経て 千尋の海の

逆まく浪となり 雲をも衝くよ

語 釋(第一卷)

「しぐれ」ハ時雨、秋冬ノ頃度ニ降ル雨。
「さやかに」ハ「しぐれ」ハツキリト聞エテアルトイフノ意。

大意

時雨ヲ誘フチ來テ降ラス山ノ嵐ニ、紅葉ガ散リ込ム谷間ノ流、リノ水ノ音が、岩ニ響キ付リヤウニアタツテ、ハツキリト聞エテアル。實ニ心地サヨイコトアル。

語 釋(第二卷)

「千尋の海」深イ海トイフノ意。

大意

見ヨ其ノ谷間ヲ流レル水サ。リノ水ハハイクツモ野ヲ過ぎ里ヲ經テ、果テハ深イ海ノ遊樂程ノ大派トナツテ、雲チモ衝クヤリニナルンテアル。

〔附言〕

少事モ我レハ大事トナル。日々ノ勉強モ積レハ終ニ立派ナル人トナル。困難ナル事モテモ勇メズ屈セズ務ムレバ何事デモ終ニハ成功スルモノアル等ノ事ヲ説話シテ訓戒スベシ。

花 賣 女

大童 球 溪

一、さ枝もたわゝに咲ける

小萩の花籠さげて

やちまたをちこむ

花よや 花よこ

呼び来る少女子 あはれ

二、聞くからやさしき聲に

白菊黄菊をもちて

やちまた あちこち

花よや 花よこ

呼びゆく少女子 あはれ

語 釋

「さ枝」ハ小枝頭露ニテ意味ナシ。唯枝ノコト。

「たわゝ」ハ「たわぶ」ニシテ、即チ枝ノ脆ム程ニ。

「小萩」ハ小毛萩頭露。

「やちまた」ハ市街ト書キテ、道ノ諸方ヘ分レテアル處。

「ちこむ」ハ「近」ノコト、アチヲコチヲニ同シ。

大意(第一卷)

枝も花籠ニ咲イテアル萩ノ花籠提ガテ、諸方ヘ分レテアル道ノアチヲコチヲサ、花チ召セ花チ召セト賣リ歩リク若イ娘子、愛ランク不感ニ感セラル。

大意(第二卷)

聞クニツイテモ愛シキ聲ニ、白菊黄菊ヲ持ツテ、諸方ヘ分レテアル道ノアチヲコチヲサ花チ召セ花チ召セト賣リアリク。小サナ娘子、愛ランク不感ニ感セラル。

〔附言〕

同情ノ念ヲ喚起シ。其レト同時ニ此ノ不感ナル少女子ニ比較スルト自分等ハ幸福ナルモノアル。一生懸命ニ勉強セババカヲ云フ感念ヲ與フルコト肝要ナルベシ。

明治四十四年一月十五日印刷
明治四十四年一月廿五日發行

女子音樂教科書附屬第一
定價金壹圓貳拾錢

不許復製

編纂者 永井幸次

編纂者 田中銀之助

發行者 大阪市東區北久寶寺町四丁目貞宗番屋敷
三木佐助

印刷者 神戶市元町二丁目二十四番屋敷
菅間徳次郎

印刷所 神戶市元町二丁目二十四番屋敷
福音印刷會社神戶支店

大阪市中心齋橋通北久寶寺町角

發賣所 大阪開成館

振替貯金大阪七九番

